


環境省・オフセット・クレジット(J-VER)認証運営委員会 御中
(事務局:気候変動対策認証センター)

平成 2011 年 2 月 1 日

温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

プロジェクト名			
「三井物産の森」北海道 間伐促進吸収プロジェクト			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	三井物産フォレスト株式会社(ミツイブッサンフォレストカブシキガイシャ)		
住所	東京都中央区日本橋本町三丁目 3 番 6 号(ワカ末ビル 4F)		
代表者氏名	青木 雄一	代表者役職	代表取締役 社長
担当者氏名	大森 丈士	担当者 所属部署・役職	企画業務部 課長代理
担当者 E-mail	t.oomori@mitsui-forest.co.jp	担当者電話番号	03-3281-1701
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	三井物産株式会社(ミツイブッサンカブシキガイシャ)		
プロジェクト参加者名			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	三井物産フォレスト株式会社(ミツイブッサンフォレストカブシキガイシャ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。		
妥当性確認・検証機関			
妥当性確認機関名	SGS ジャパン株式会社		
検証機関名	SGS ジャパン株式会社		

プロジェクト情報	
プロジェクト登録番号 (4ケタ)	0044
プロジェクト登録日	2010年11月15日
プロジェクト概要 ¹	<p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>【プロジェクトの目的・内容】</p> <p>三井物産フォレスト(株)がプロジェクト代表事業者として、三井物産(株)社有林、沙流山林及び初山別山林における山林経営において、適切な森林管理を行う一環で間伐を促進しCO2吸収量の増大を図る。</p> <p>【適格性基準との整合性】</p> <p><条件1> 森林施業計画を北海道庁及び留萌振興局に提出し、認定を受けており、森林法第5条に定める森林である。</p> <p><条件2> プロジェクト実施地である沙流山林、初山別山林では、2008年4月1日から2013年3月31日までの間に森林施業計画の認定を受けており間伐が計画されている。また当該プロジェクトの対象地となる間伐実施箇所及び間伐計画箇所では主伐や土地の転用は計画されておらず、「森林施業計画にかかる伐採届出書」にて証明する。</p> <p><条件3> 森林施業計画に基づく森林管理活動を第三者が検証する方法</p> <p>森林施業計画</p> <p>[沙流山林]</p> <p>北海道知事 認定番号北・14-U3(2003年4月1日～2008年3月31日) 変更認定 北・14-U3(変8-13)</p> <p>北海道知事 認定番号北・19-T1(2007年9月1日～2012年8月31日) 変更認定 北・19-T1(変2-20)、北・19-T1(変3-20)</p> <p>北海道知事 認定番号北・20-T3(2009年4月1日～2014年3月31日) 変更認定 北・20-T3(変1-21)、北・20-T3(変2-21)、北・20-T3(変3-21)</p> <p>[初山別山林]</p> <p>留萌支庁 認定番号 留・19-A1(2007年9月1日～2012年8月31日) 変更認定 留・19-A1(変1-19)</p> <p>留萌支庁 認定番号 20-A2(2009年4月1日～2014年3月31日) 変更認定 20-A2(変1-21)</p> <p>【法令遵守状況】</p> <p>森林林業基本法、森林法、森林の間伐等の実施に関する特別措置法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律が該当し、遵守している。その他、伐採届の提出、保安林内での間伐届の提出等を行っている。</p> <p>【採用技術】</p> <p>面積測量: Pathfinder ProXT(Trimble)、SXBlue II(GENEQ)、Archer Field PC(Juniper System)、ポケットコンパス、ポコレ(牛方商会)</p> <p>樹高測定: TRUPULSE200(LASER TECHNOLOGY社)、測高ポール</p> <p>胸高直径測定: 輪尺</p>

¹ プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC体制等に関する内容を3ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

【モニタリング方法】

森林簿や森林計画図から樹種、林齢ごとに区分し、自然条件が違っている場合はそれぞれの区の斜面中腹からプロットを設置する。

図面で選定した個所を現地踏査し、林相、地形等の平均的な個所でプロットが確保できるか確認。林道や林縁から樹高 2 倍以上林内に入っていることも確認する。

プロット設置個所は森林計画図に図示するとともにGPS等で経緯度の位置を記録し、現地は杭やテープなど目印を設置する。

【GHG 算定式の方法論への準拠性】

方法論に定められた算定式を用いて吸収量を計算している。

【モニタリング体制】

<平取山林事務所、沼田山林事務所>

- ・J-VER担当者 モニタリング計画策定、データの収集・把握、
モニタリング実施、モニタリング記録の保管、管理
- ・各山林事務所長 モニタリングデータの確認

<企画業務部>

- ・J-VER担当者 モニタリング手順指導、モニタリング計画策定補助、
モニタリング実施補助、モニタリングデータの確認、
モニタリング報告書の作成
- ・企画業務部長(算定責任者) モニタリング報告書の最終チェック

<業務本部>・業務部本部長 内部監査実施

【QA / QC 体制】

1、教育訓練

対象者:モニタリング実施担当者(沼田山林事務所、平取山林事務所)

内容:J-VER制度、モニタリング方法手順、測定機器の維持管理、
モニタリング報告書記載方法

実施時期:現地調査実施年(2010年と2012年)の7月

記録保管:企画業務部

2、情報管理

内容:純吸収量算定に使用した全データ

管理:モニタリング実施担当部署が文書化し保存

保管期間:データの保存期間は「平成 35 年 3 月 31 日」まで

3、データ確認

データチェック内容:収集単位の確認、野外調査票と算定ファイルの突き合わせ、
使用した係数の妥当性の確認、経年的なデータ変化、
林分間の比較、恣意的データ・はずれ値の識別

担当:企画業務部

4、内部監査

対象:モニタリング実施担当者(沼田山林事務所、平取山林事務所)

	実施時期: モニタリング報告書作成時 監査項目: モニタリングデータ、純吸収量算定方法、データ管理状況 内部監査員: 業務本部 (その他特筆すべき事項)						
モニタリング結果概要 ²	<input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。 <input checked="" type="checkbox"/> モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。 (その他特筆すべき事項)						
適用モニタリング方法 ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (森林管理プロジェクトプロジェクト用) ver.1.6						
適用方法論	方法論番号	R001 ver.3.0					
	方法論名称	森林経営活動による CO2 吸収増大(間伐促進型プロジェクト)に関する方法論					
モニタリング結果							
モニタリング期間	2008 年 4 月 1 日～ 2010 年 12 月 31 日						
<方法論R001・R003のみ> モニタリング対象面積	479.15ha						
排出削減・ 吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO ₂ ³	1,997	2,482	2,121			6,601
認証依頼削減・吸収量	6,601		t-CO ₂				

² モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入してください。

³ 小数点以下は切り捨てとし、トン単位で記載してください。よって、小数点処理のため、表記上では単年度の削減量・吸収量の合計と、各年度合計量が異なることもあり得ます。

ダブルカウントの防止の措置			
ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者	三井物産株式会社 三井物産フォレスト株式会社		
ダブルカウントの防止措置内容	プロジェクト対象森林でのJ-VER制度以外のクレジットの発行は行わない。 尚、ダブルカウントを防止するため、本プロジェクトの対象山林に関して、フォレストック認定から除外した。現在までにフォレストックCO2吸収量販売の実績はない。 当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。		
公的な報告・公表制度 (判明している公的制 度)	該当なし		
自主的な報告・公表対 象(対象となるホームペ ージ、環境報告書等)	三井物産(株)HP、CSR活動レポート 三井物産フォレスト(株)HP		
ダブルカウント防止措置責任者 (プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要)			
事業者名			印
住所			
代表者氏名		代表者役職	
担当者氏名		担当者 所属部署・役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
備考欄			

以 上